

令和3年度 徳島大学大学院 創成科学研究科修士課程

臨床心理学専攻 II 期

入学試験問題

受験科目名：臨床心理学

【注意事項】

- 1 係員の指示があるまで問題冊子を開いてはならない。
- 2 試験問題は、表紙（この紙）1枚、問題・解答用紙6枚の、合計7枚である。
- 3 解答開始後、各問題・解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 4 問題は合計5問である。5問ともすべて解答すること。
- 5 解答は指定された解答欄に記入すること。
- 6 配付した用紙はすべて回収する。

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その1

第1問 次の論文アブストラクトを読み、下の問1～5に答えよ。

Objective

Patient-provider communication is a critical component of cancer care. Digital tools have been applied to facilitate cancer care and patient-provider communication. However, to date, there is no systematic review on this growing body of literature. The objective of this study is to identify the existing digital interventions to improve patient-provider communication among cancer patients and survivors, summarize their characteristics, and synthesize the outcomes of these interventions.

Methods

We searched the databases of PubMed, CINAHL, and PsycINFO using Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-Analysis (PRISMA) guidelines with the following criteria: (a) empirical studies focusing on digital interventions to facilitate communication between cancer patients or survivors and their health care providers, (b) reporting qualitative or quantitative health outcomes of the cancer patients or survivors after the digital intervention, and (c) English articles published after 2000.

Results

The initial literature search generated 1006 articles; only 13 met the inclusion criteria. Most of the studies were conducted among breast, prostate, and lung cancer patients. Ten out of 13 studies used randomized controlled trials to evaluate intervention efficacy. The outcomes assessed included symptoms reporting and management, decision making, distress and quality of life, and utilization of health care. Most studies reported positive outcomes following the interventions.

Conclusions

The existing evidence on the number, characteristics, and outcomes of digital interventions to improve patient-provider communication suggests the preliminary efficacy of such interventions. It is essential to develop and implement more evidence-based digital interventions to engage patients, enhance patient-provider communication, and facilitate patient-centered decision making to improve patient-centered health outcomes, especially in underserved communities of cancer patients and survivors.

出典 : Hong, Y. A., Hossain, M. M., & Chou W-Y. S. (2020). *Psycho-Oncology*, 29, 591-603.

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その2

問1 この研究の目的を述べよ。

--

問2 この研究で最終的に採用された論文数およびその選択基準を述べよ。

--

問3 下線部の randomized controlled trial について説明せよ。

--

問4 この研究により示された結果について、簡潔に述べよ。

--

問5 この研究に適切なタイトルを日本語で付けよ。

--

小計	
----	--

受験番号

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その3

第2問 心理学に関連する、次の1～20とそれぞれ関連が最も深い語を、下の語群a～zのうちから一つずつ選び、該当する記号を解答欄に記入せよ。

1. ヒトや動物などの生体が、内部環境における最適な均衡状態を保とうとするメカニズム。
2. みずから行動する時と、それと同じ行動を他者が行っているのを観察している時の、両方で活動するニューロン。
3. 内耳にあり、聴覚処理を担う聴覚系の器官で、約3回転した螺旋形の管。
4. 後で自分に都合のよい帰属が行えるように、課題を遂行する前に自分に不利な条件を主張したり、不利な条件を自ら作りだすこと。
5. 心理学で用いられる尺度（測定値）のうち、尺度値が大小のほか差を表す機能をもつが原点（0）の位置は定まらず、比率を表す機能を持たない尺度。
6. 音の大きさについての主観的な比率関係を表す感覚尺度。
7. 刺激による感覚、あるいは、注意や記憶などの心理活動に対応して脳内に生じる一連の電位変化。
8. 左右の大腦半球の間を結ぶ交連線維が、外科的手術や自然の病変によって切断され、左右脳の連絡が絶たれた状態。
9. ヒトの心の発達における遺伝と環境の関与について、個体を通して遺伝と環境が相互に影響しあうとする考え方。
10. パーソナリティ測定法のうち、曖昧な図形や文章を呈示して口頭あるいは文章で回答を求める方法。
11. 身体が運動可能な状態にあるのに、習得した行為を意図的に行うことができない状態。
12. 他人（モデル）がある行動を行い、強化を受ける事態を観察するだけで、その反応の生起率が増加する学習。
13. 注意や言語処理に関する実験で用いられ、左右の耳に異なる聴覚刺激を呈示する実験方法。
14. 脳損傷などで生じる記憶の障害において、脳損傷を受けた時点以前の記憶が失われる症状。
15. 他者との積極的な愛情関係を確立、維持、回復しようとする動機。
16. 曖昧な状況において他者に情報を求め、その情報を用いて自らの行動を調節すること。約1歳前後から生じる現象。
17. 発話開始において音や音節の繰り返しや引き伸ばし、あるいは、声がつまる症状を示す、発話における流暢性の障害。
18. 対立仮説が実際には真であるのに帰無仮説を棄却せずに採用してしまう誤り。
19. 色覚現象を説明する際、赤、緑、青の3色を伝達する神経組織を仮定する説。
20. 顕在記憶を測定する方法の一つで、以前に学習した事柄をそのまま再現すること。

語群

- | | | | |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|
| a. 弁別学習 | b. 運動ニューロン | c. 聴性脳幹反応 | d. 失行症 |
| e. 前向健忘 | f. 第一種の誤り | g. 好奇動機 | h. 三色説 |
| i. 蝸牛 | j. ソン尺度 | k. 分離脳 | l. 吃音 |
| m. 事象関連電位 | n. 投影法 | o. 観察学習 | p. 両耳分離聴法 |
| q. 逆向健忘 | r. ホメオスタシス | s. 親和動機 | t. 相互作用説 |
| u. 社会的参照 | v. ミラーニューロン | w. 第二種の誤り | x. 間隔尺度 |
| y. 再生法 | z. セルフ・ハンディキャッピング | | |

解答欄

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
記号																				

小計

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その4

第3問 次の文章を読み、下の問1～2に答えよ。

認知心理学や社会心理学を中心に、心理学の研究により、「ヒトはいつでも正確な判断や意思決定ができるわけではない」「他者に特定の行動を促そうとする際に、正しい情報に基づいた助言・指導・説得が必ずしも効果的ではない」といった現象が認められること、およびこれらの現象の背後にある認知・行動的なメカニズムが解明されてきた。

問1 「ヒトはいつでも正確な判断や意思決定ができるわけではない」について、いくつかの「認知バイアス」を例に挙げながら、具体的にどのような現象のことを指すか説明せよ。

--

問2 「他者に特定の行動を促そうとする際に、正しい情報に基づいた助言・指導・説得が必ずしも効果的ではない」について、心理学や行動科学の知見に役立てることが期待されている。そこで、COCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）を普及させる方法について、心理学や行動科学の知見に基づき説明せよ。その際、心理学や行動科学の用語を複数取り上げながら、説明せよ。

--

小計	
----	--

受験番号

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その5

第4問 心理学に関連する、次の文章を読み、それぞれの内容と関連が最も深い語を、下の語群 a～zの中から一つずつ選び、該当する記号を解答欄に記入せよ。

1. 個人の主観的世界観、自己認知、自己価値などの主観的な体験を重要視し、これらの観点から人を説明、理解する臨床心理学的アプローチ。
2. ベック (Aron T. Beck) によって開発された抑うつ症状を測定する質問票。
3. 自我が心理的葛藤により生じる不安から自分自身を守るために行われる無意識的な反応様式。
4. 虚血性心疾患にかかりやすい人に見られる、共通の行動パターン。
5. 森田正馬が考案した、発病をもたらすとされる性格的傾向。
6. 小児期、あるいは青年期早期から始まり、成人後も続く、他人の権利を無視し、侵害する広範な内的体験および行動の様式。
7. 行動を観察する際の留意点のひとつであり、対象となる現象をその観察者がどの程度正確に観察しているかということを示す指標。
8. 発達過程にともなう性格の変化に関する研究手法の主なものの一つであり、対象を追跡的に調べる手法。
9. 認知症のスクリーニングを目的とした、図形模写などの動作性検査を含まない簡便な検査。
10. パニック障害に最も併発しやすい症状。

語群

- a. タイプB行動パターン b. 外向性 c. 反社会性パーソナリティ障害 d. 妥当性 e. DSM-5 f. BDI-II
g. MMSE h. HRSD i. 人間性アプローチ j. 縦断的研究法 k. 解離症状 l. ICD-11 m. 精神病傾向
n. タイプA行動パターン o. 精神交互作用 p. 防衛機制 q. 広場恐怖 r. 自然観察法 s. 中心性
t. 闘争-逃走反応 u. 横断的研究法 v. HDS-R w. ヒポコンドリー性基調 x. 精神分析的アプローチ
y. 信頼性 z. 統合失調型パーソナリティ障害

解答欄

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
記号										

小 計

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科修士課程臨床心理学専攻
臨床心理学 その6

第5問 次の John Bowlby の愛着に関する文章を読み、問1～2に答えよ。

扱いやすい赤ん坊は、自信のない母親が好ましい世話のパターンを形成するのを助けることであろう。逆に、扱いにくく気まぐれな赤ん坊は、事態をそれとは異なる方向に向かわせるであろう。しかし、あらゆる証拠が示しているように、潜在的には扱いやすい赤ん坊でも、好ましくない世話が行われれば、好ましくない発達を遂げるであろうし、同様に、そして、より好ましいことであるが、潜在的には扱いにくい赤ん坊でも、敏感な世話が行われれば、好ましい発達を遂げるであろう。・・・扱いにくく気まぐれな赤ん坊にも順応し、赤ん坊を好ましい方向に発達させることができる敏感な母親の持つ能力は、この分野における最近のあらゆる発見の中でも、おそらく最も勇気づけられるものであろう。

(引用：上地雄一郎，メンタライジング・アプローチ入門―愛着理論を生かす心理療法―，2015，北大路書房，p102)

問1 彼はこの文章でどのようなことを述べているのか，下の空欄に適切な用語を入れなさい。

John Bowlby は，(①) の気質の重要性を認めながらも，(②) をより強調している。

①		②	
---	--	---	--

問2 John Bowlby の愛着スタイルを発展・精緻化した Mary Ainsworth の愛着パターンについて説明しなさい。

小 計	
-----	--

合 計	
-----	--